





長安一月月
天橋不
石
情
日
胡
長
安
月
橋
不
石
情
日
胡
長
安

門 2
456
卷

豎立當末字例
橫歸本字例

音訓國字格序

流卷
國字格序

有言法而后有字。有字而后有音。訓者。刻又之法也。要同席而可通者。言也。陽國而可達者。字也。徑言素之。結纒鳥法之。朴文質彬。彬象。楷楷單之。流豈。帝殊。庭宇。變化流行。萬邦猶一日矣。五。



日本疇昔必有字。而終不傳。欲論
之無由。唯空海師之伊呂波。古備
公之片假字。傳千歲。謂之國字。用
合四十七音。為億萬。洲五音。五十二
有無量。用。其邪。孩。提之童。能知。國
字。然因不知法。則謬音。訓。致是字
言。法。與音。洲。起。熟。學。其。澆。則。也。

者。今所呼。之。法。與。所。書。音。訓。等。
一之規矩也。不佞以人事之間。筆
音。訓。國。字。之。格。亦。吾。童子。未。掃。盡
机。學。書。房。星。運。事。自。人。頻。上。干。木。
恨。事。出。早。卒。有。疎。漏。為。不。得。止。候。
明。者。校。正。云。寬。政。己。未。春。分。日。高。井
伴。寬。叙。



應姪伴寬需西湖元景書干

龍鱗菴



音訓國字格

上卷目

- 大意 ○日本之文字
- 音訓 ○日本國字伊呂波
- 片假字伊呂波 ○日本古體伊呂波
- 唐土伊呂波 ○天竺伊呂波
- 朝鮮伊呂波 ○和蘭伊呂波
- 縱橫相通五音五十字 ○五音分配
- 象音翻譯 ○漢音吳音
- 四聲七音清濁 ○日本之四聲並發字
- 反切 ○日本國字反切

○唐音

○華音

下卷目

○國字音格

○國字訓格

音訓國字格

乾

武江 高井伴寬思明述

大意

伊呂波四十七字ハ吾國ニ製作スル所ニシテ筆意簡易ナ
 山家村居人賤夫鄙婦モ會得速ニシテ日用ノ便利アリ故古
 昔ハ幼兒ノ新ニ筆學ニ入者ハ先三十一文字ノ淺香山ノ歌ト
 難波津ノ歌トヲ手本ニ授與セシライツカ伊呂波ヲ以テ手本ノ
 初トスルニ成リ四十七字ハ人言ノ音ニシテ伊呂波ヲ以テ訓スレバ
 宇宙ニ洩脱モノナシ伊呂波ヲ連續シテ音ヲナシ訓ヲナスヲ假字違
 ト云兒女輩只伊呂波ノ簡易ナルヲ知テ法アルヲ知ズ片假字縱
 横ノ五十音ニ微妙ノ義アルヲ悟ス妄ニ國字ヲ書シテ訓ヲ違ヒ

ノ字書説文ヨリ己下康熙字典ニ至迄見ザル所白道仮アレ氏義
甚異ナリ其字形漢字ニ父ハ米中ノ救交也ト野正キ文取
スサバ空海師伊呂波ヲ造吉備公片假字ヲ製衣シ吾邦ノ貴賤
漢字ニ並べ用ルヲ千載ノ今ニ至ル實ニ吾 本朝制衣作ノ文字今
ニ見キハ伊呂波ノ姝庭ノ書ニモ吾伊呂波ノ假字ヲ草ニ書シ毎
字ニ漢字ヲ以音ヲ注セルヲ見タリ是ヲ以其舊ヲ知ベシ儒士アリ
歎息シテ曰漢土ハ文國ナレ匹夫匹婦モ字ヲ知 日本ハ文盲ノ國
ニ假字ヲ用若吾邦假字無リセ上下悉漢字ヲ暗記ベキニ伊
呂波有テ下民ヲ愚ニス宜也 日本ニ聖人出サルト愚云不然天
地ノ化育一カニ私セス人ハ萬物ノ至靈ナレ氏其質賢愚アル萬
邦異ルナシ千古ノ大聖堯帝ノ子ハ如何ナル質ソヤ禹王ノ父ハ如

何ナル人ソヤ漢土ニモ不オアリ 日本ニモ君子アリ文武周孔ノ大
聖ナル道ニ違スルニコソアレ字ヲ知多故ニ非ズ漢土ニノ道有テ餘
國ニ道キニ非ズ夫國アル人アリ人アル主アリ主ハ道ヲ以下ヲ治臣
道ヲ以上ニ事フ何レノ國ニモ其國ノ道アラサルナシ貴モ賤モ
道ヲ知ノ多ハ賢人君子多ク唐堯虞舜無爲ノ治アレバ仁徳
清和仁惠ノ政アリ吾國聖人ナシト云カラス聖ノ名ハ異國ニ唱
ル所ニテ吾國ノ稱呼ニ非ル其人有テモ聖人ノ名ハナキ各國ノ
風土ニシテ音ヲ用訓ヲ用ル差別アリ吾國ハ訓ヲ以用ヲナセバ伊
呂波假名ノ簡易ナル兒女愚民ニ益アルト少カラス漢土音ヲ以
用ヲナス訓ヲ用ル字少ク言多シ音ヲ用ルハ言少ク字多シ彼邦
ニ博識秀才アル吾國達學子能書アリ 日本ニ無學無筆ノ

者モアリ漢土三字不通ノ入モ凡和漢異ナルナシ一字不通
ノ用ヲオスニ至テハ訓ヲ用テ言多キハ音ヲ用テ字多キニ増シ

音訓

天地ノ音ハテシテ訓ハ及ツチ日月ノ音ハジツケツ訓ハツキヒ山
川ノ音ハサセシ訓ハヤニカハ父母ノ音ハボ訓ハチハ男女ノ音ハタシ
チヨ訓ハオトコヲチ音ハ漢土ノ字音訓ハ吾國ノ倭訓也漢土音
ヲ用 本朝ハ訓ヲ用ルニ假字ハ今漢人ニ對シテ齒幾ヤト訓
問ニ問君春秋多トイハ其歲數ヲ以答ニ問君春秋多トイハ
トイハ其意ヲ解ヘカラル如シ音訓ノ通用各其土ノ自然ニシテ而モ
義ニ於テ違フナシ

日本唐天竺朝鮮和蘭伊呂波

和蘭ノ
文字障
有テ則
之

其國ニ仍テ字々音訓異
ナリト云尼用ヲ達シ事ヲ便
スル趣ハ一也今殊庭ノ文字
吾國ノ假名ニ應ズル音ヲ纂
テ吾ガ伊呂波ノ下ニ列ヌ
日本ノ假字ハ漢字ヲ草ニ
書シタル筆勢ヲ畧セシモノ
也和歌ノ家ニハメクノ片假字
ハ漢字ヲ行ニ書タル畫ヲ省
キタルモノ其正字多ハ萬
葉ノ假字ニ同シ字ノ省略

イ	伊	以	位	イ	イ
ロ	呂	良	路	ル	ル
ハ	半	波	波	ハ	ハ
ニ	仁	奈	兒	ニ	ニ
ホ	保	波	逋	ホ	ホ
ヘ	邊	波	工	ヘ	ヘ

黒白ニ分知シコノヒヤクニワカミ 萬葉假マンヤクカ
 名ハ漢字ヲ吳音ヲ下畧ナハカンジヲゴオンヲカクヤン
 テ呼ヨブ如クニテ津江ツエ女メナト訓ツケ
 也他字上同シタカ吳音ニ呼ヨブハ
 津江ツエ女メナナ今漢字音イマカンジノネ
 伊呂波イロハニ似ルモノヲ弟四段ニ
 列シ強テ唐土カラ伊呂波イロハト名イ
漢音ニナキ音ハ吳音ヲ以填シ
ス故國中ニテ書シテ是ヲ分ケ
音ヲ注ス 日本古體ノ假字
 ト云アリ按スルニ天竺チンクニ梵字ボン
 ノ義理ヲ踏襲シテ杜撰セ

わ	を	る	ぬ	り	ち	こ
和	乎	流	奴	利	智	止
和	遠	阜	季	良	大	衰
和	鳴	縷	怒	利	智	土
瓦	子	下	可	区	区	不
釘	外	ル	午	区	区	正

ルモノト見タリ 日本ノ號ニ
 六第ス三股ス列ス天竺チンクテ
 梵字ボン伊呂波イロハ叶エモノアリ第
 五股ス列ス蓋梵字ボンノ筆意シツイ
ヲ學マナサレハ書カキガタシ唯象キツクイ形カヲ
 摸モスルニ此国也 日本及唐
 土ト同ク坤輿コンヨ亞細亞アシアノ帶タイ
 ニ在ステ頗大國也文字モンジヲ連ツ子
 合セテ自在ジザイノ音ネヲナス假カタ字ジハ
 國ト云字ジナバコノ字ジクノ字ジヲ
 合セタル體タイヲ一字トス如シ萬

ね	つ	ろ	れ	た	よ	か
子	鬪	曾	礼	多	與	加
奎	奎	衰	皇	太	叢	加
孺	都	祖	雷	多	與	加
以	子	不	了	又	改	瓦
FI	ズ	土	神	下	金	加

音川上

五

星運堂

邦夫々ノ國字有ガ中ニ此國
 悉曇ノ法アリ阿字ヲ數万ノ
 字母ト定メ擴レハ音韻疊重
 ノ理ヲ盡シ縮レハ都テ阿字ニ
 歸ス是ヲ漢土ノ文字吾國
 ノ假字ニ當ニ總テ其規矩
 ヲ出ズ故ニ和漢コレヲ用テ音
 韻ヲ正ス意味深長尤ルハ
 兒輩規規ベキ非ハ閣之末
 ノ豎横五十音ヲ釈ス所ニ
 於テ其義一ニラ見ベシ皆

ナ	ら	む	う	ぬ	の	に
奈	良	牟	宇	困	乃	於
奈	良	牟	宇	央	奈	製
那	羅	無	宇	爲	汗	汗
ナ	了	了	了	了	了	了
ナ	了	了	了	了	了	了

悉曇ニ本イテ説ヲ爲モ
 朝鮮ニ吾伊呂波ノ如キ國
 字アリト一書ニ因テ採之第
 六段ニ列ス愚心具可不ウ詳ニ
 セズ按スルニ周ノ武王殷ヲヒシ
 箕子カ囚ヲ免シ朝鮮ニ封シ
 テ臣トセサレ旨ハ書ノ文ニ叙ホ
 然タリ爾來箕其國世々漢土
 ノ冊封ヲ受テ冠服儀禮唐
 土三等ク文字モ時ト俱ニ唐
 土ノ變化ニ從テ用來ルナレ氏

く	や	ま	け	ふ	こ	に
久	也	末	箇	不	已	江
架	也	末	架	波	製	江
矩	也	麻	氣	付	固	衛
了	了	了	了	了	了	了
了	了	了	了	了	了	了

た 九

字ヲ呼ブ音ノ大同ク少キ
 異ナル者アリ是ニ由テコレヲ
 觀レ國俗用ル所ノ被邦製
 作ノ字果シテ無ルカラズ況ヤ
 彼國ノ諺文ト云モノアリ字
 體異ナリ吾 日本寶曆甲
 申ノ春韓使來朝アリ美濃
 州今須ノ驛ヲ過ルニ遇テ留
 姓勝山今須ノナル者箕國ノ
 正使書記龍淵名大中字士執ニ問
 及尾旅中事レケキ其詳ト

て	天	空	爹	不	子
あ	阿	安	阿	及	△
さ	茶	左	左	又	子
き	喜	欠	喜	△	川
ゆ	勇	半	俞	△	弁
め	女	奎	罵	△	咄
み	美	夷	美	△	仁

ルヲ得スト云 和蘭ハ歐
 羅巴ノ境界ニアル小邦也然ルニ
 其國俗機智精巧ナル大國
 モ及ス諸人知所之其國字
 ヲ稱シテアセト云伊呂波ノ
 三字ヲ呼テ假字ノ總名トスル
 加レテ子二十六アリ左ヨリ右ヘ
 並書ユヘ横文字ノ國トモ云
 其字ヲ二字三字連合シテ音
 ヲテ用テ便スルヲ天竺ノ悉曇似多吾邦伊呂波似多音ヲ後第七
 段ニ列ス蓋國土ニ仍テ人言モ自然ニ異ナリ 日本ニムト呼音ヲ彼人

し	之	矣	之	△	今
魚	惠	堂	會	△	△
ひ	比	波	比	△	△
も	毛	末	衰	模	△
せ	世	左	稅	△	△
す	須	左	芻	△	△

ノ言ハミユト呼テムト云音ナレ伊呂波ノ音ニ有ト無ト多テ餘モ此類
 多シ唯其近キ音ヲ取ル凡ノ人言ノ開合萬邦同キ者ナレ其土
 ノ自然ニシテ吾日本ノ内ニシテモ西国北国ノ言語ヲ以京師東都
 ニ比レ違アリ況ヤ萬里ノ殊域ヲヤ斯殊方ノ字音ヲ列レ六人ノ
 ロニ出ル音各地方ノ自然少キ差異アレモ大ニ同ト云レバ吾國伊呂
 波ヲ造人ノ音ヲ四十七字ニ盡スコト旨アルヲ知レ

縦横相通五音五十字

ア一字ヲ音毎ト	ア	イ	ウ	エ	オ
ス凡人ノ口ヲ開テ	一	二	三	四	五
音ヲ發スル始必	ア	イ	ウ	エ	オ
アノ音ノ夫ヨリ少	カ	キ	ク	ケ	コ
	牙	喉			
					開淺

エオノ
 行ハヒ
 フヘホ
 ニ通フ

ク唇ヲ撮ミ齒先	サ	シ	ス	セ	ソ	齒
ハ聲ヲ出セハイト	タ	チ	ツ	テ	ト	舌
成又唇ヲ合スレバ	ナ	ニ	ヌ	子	ノ	舌齒舌
ウト成故ニアヨリ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	唇 輕
ウヲ生ズルマシ	マ	ミ	ム	メ	モ	唇 重
音舌ニ觸テ喉ス	ヤ	井	ユ	エ	ヨ	喉
レエト成ウノ音	ラ	リ	ル	レ	ロ	舌齒
ヲ喉ニ入レバ成	ワ	イ	ウ	エ	オ	喉
人故ニイヨリエラ生	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	唇 輕
ジウヨリヲ生ズ	ア	イ	ウ	エ	オ	唇 重
アヤ喉タ舌カ牙サ齒ヲ半舌ナハ半齒ニテハハ唇音						合深
十行氏ニ比皆同ジ而モ十行アイウエヲヨリ生スル故長ク引バ皆アイウエ						開淺合深

ヲニ終ルアアカサアタアアイイギイイチイウウクウスウツウ又ウ音ノ
末ニ其生シタル母ノ韻ヲ念ムバ之伊呂波ノ四十七字ニ比スバイウエノ三
字同字アリ是深キ故アリ假字遣ノ條ニ記ス又イ井ヲオエエノ同
音別字輕重同カラスラ分ツ都テ假字遣ノ深義喉音ニアリ
然ル故アワヤノ三行始中終ニ有テ開合淺深ノ別アリ又音ニ輕重アリ
リタトハイヲエ六輕ク井オエ八重シ尚末ニオセシ又音ニ開合アリ
カサタナノ如クロヲ開テ呼ヲ開トシヲコソトノノハクロヲ合セ呼音
ヲ合トス開ハ外へ呼聲合ハカニテ内ニ入聲ト知レシバ言語聞取カ
タキヲ開合ノハカ又トハ云之九音五十五文縱横ニ相通シテ互ニ用ヲ相爲
テ微妙無限ノ理ヲ備フ其働段々次ニ述ルモノ也抑印度ノ梵字ノ象
形ニ縱横相通ノ意ヲ具スルヲ以其ヲ摸シ何者好事カ吾伊呂波

之有ニ前
ア
カ
サ
ア
タ
ア
イ
イ
ギ
イ
イ
チ
イ
ウ
ウ
ク
ウ
ス
ウ
ツ
ウ
又
ウ
音
ノ

故體ノ字ト云テ製シタル乃前ノ四十七文字ニ段ニ出セル之今梵字
ヲ縱横ニテ見ルニアイウエヲトヨム縦ノ行ハヨリ生ズル故ニイウエヲ
四字ニア字ノ體ヲカ子カキクケコ皆カ字ノ體ヲ具ス餘ノ縦行同
之アカサタナト横ニヨモアヨリ生ズル九字皆ア字ヲ兼イキシ之皆
イヨリ生ズバイ字ノ形ヲ具フ餘ノ横行同之縱横總テ所生ノ母字
ノ形象ヲ備ル也天竺ノ悉曇ノ法音韻密尤ノニ非ズ梵字又直ニ其
音ヲ形象ニ備フ字ヲ連合シテ數カノ體ヲ成シテ約レハ阿一字ニ
歸ス是ヲ外域ニ按スルニ和蘭ノアセ音韻ヲ字象ニ具ス如ク梵字
ノ音ニ近シ和蘭ニハ
ノ如キ體有テ真
行草異ナル類ヨリ前ノ四十七文字ニ出セル草ノ如キモ之愚知ヨリ
經傳ニ志ヲ勵シ餘カラ得テ專天學ヲ勉レ氏蘭學ニ疎ナク蘭

音川上

是理堂

理ヲ述ル也

象昏翻譯

凡ソ乾坤ノ間ニ生ル人其土地ノ氣ヲ受ルガ故ニ各國各地五音少ク違ガレ其邦ノ帝都王畿ヲ中央トシコニ生ル人ノ言語正々中土ヲ四方ニ去テ言語マシテ去テ遠ケバ彌違フ萬國比皆然日本帝都ヲ去テ東奧北越西邊筑紫ノ果ニ至ル言語其違ヒ蝦夷ニ至テ言語不通漢土中夏ノ五音ト并蠻吳越ト異チリ弥異ニシテ侏離缺舌ノ不通ニ至ル其他鞞靺印度ノ諸國モ皆如斯然凡萬邦一天地ナバ象昏ヲ以言語ヲ通シ翻譯シテ文字ヲ通シ解スベカガル者ナキ

漢音吳音

日本へ殊庭ノ音ヲ傳ハ漢吳二音也漢音ハ支那ノ中國ノ音吳音ハ吳國ノ音也二音總テ漢土ノ音ト氏吳ハ殊庭ニシテハ中國ヲズ元 荆蠻ト呼テ邊鄙一方ノエビス其音中夏ノ音ニ異ナリ是亦五口國華洛ノ言ト奥州ノ言ト自ラ違ル如シ 日本へ吳音ヲ傳ル説ニ六國ノ女僧對馬州ニ來其國音ヲ以維摩經ヲ讀タルヲ始シテ佛書ハ吳音儒書漢音ニ讀ト云愚按ズルニ吾邦平常ノ言語スベテ吳音ヲ用格書法令ノ文ヨリ日用ノ書通シテ讀テ渾混吳音也四書五經ノ素讀モ凡テ漢音バカリニ讀テスレ必吳音父出ルヲ以思フニ吳ニ近キ 日本ノ水土自然ニシテ吳音ノ應ズルトスベシ漢音吳音元ヨリ義ニ於テ違ナキ

四聲七音清濁

漢土ハ音ヲ用ル故四聲ノ多クハ日本訓ヲ用テ四聲ノ用ナ
 シ異朝トモ文武周孔ノ時ニ四聲ト云フナシ梁ノ沈約始テ四聲
 ラ分説ス梁ノ武帝問如何ナル是四聲ソ沈約言三應シテ云天
 子聖主哲是ヨリ平上去入ノ名有テ上去入三聲ハ仄字也字彙
 ニ曰調音貴得其平故初發聲爲平聲并上爲上過去爲
 去四聲盡則入矣元和韻譜曰平聲者哀而安上聲者厲
 而舉去聲者清而遠入聲者直而促康熙字典曰平聲平
 道莫低昂上聲高呼猛烈強去聲分明哀遠道入聲短促
 急收藏コレ四聲ノ説也其後西域ノ梵僧七音ノ説ヲ漢土
 ニ傳テ音韻ノ學大ニ備リ反切ノ諸例是ニ起其巨細ハ韻ノ
 書ニ盡タリ七音トハ入ノ口ヨリ發ス音アイウエヲワヰウエオ。

ヤイユエヨハ喉ヨリ出タチツテトナニ又子ノラリルレロハ舌ヨリ出
 カキクケコハ牙ヨリ出サシセソハ齒ヨリ出ハヒフヘホハ唇ヨリ出テ
 輕クミムメモハ唇ヨリ出テ重シ唇舌牙齒喉ノ音ヲ五音ト云
 此内ナニ又子ノ齒ヨリ出テ舌ラハ故半齒半舌トシラリルレロ
 半舌ヨリ齒ニヒクユヘ半古半齒トス以上ヲ七音ト云之然シテ
 字ノ韻或ハ引或ハ跳者モ呼出ス五音ニ從フ譬ハ天ノ字ノラ
 音トシテ韻トス舌音ノテヨリ呼出ス天ノ字ハ舌ニ屬ス聖
 ノ字ナラバセテ音トシテ韻トス齒音ノセヨリ呼出ス故聖ノ
 字ハ齒音トスル如シ外皆然之又字々自然ノ清濁アリ其中ニメ
 聖教ノ如ク漢音吳音俱ニ清アリ勤行ノ如ク漢音清テ吳音濁
 アリ文武ノ如ク漢音濁テ吳音清アリ牛ノ字外ノ字ノ如ク漢音

吳音俱濁アリ是ヲ韻書ニ考ルニ字ノ清濁ハ吳音正ニ似タリ
又按スニ古音ノナニヌ子ノ吳音ニ有テ漢音ニナシ漢音ニハタ
チドテノ音ニ協フ南難尼你而爾奴怒年念ノト云音ハ吳
音漢音俱ニナシ唇音ノ一ミムメモ吳音ニ有テ漢音ニナシ漢
音ニハヒフヘホニ叶フ滿萬民愍武無面綿門目是等ノ字ヲ
以知ル其他如斯毎字ニ音ヲ併校シ漢吳二音ノ變通自
在ニ知ル也但漢音ヲ正トシ吳音ヲ以不正トス凡前ニモ述如クニ
吾國自然吳音ノ應スル故強テ漢音ハカリニ讀ベカラサル者ア
リ今儒書ヲ讀ニ門明命民孟ノ類吳音ヲ避テ入徳之門
明德天命諸氏孟子曰ト讀ハ漢音モ耳ニ立ベシ經書ノ中ニ
加此テ 枚舉スヘカラス少ク字ヲ識者スラ圖ラズ吳音讀過

スナバ初學ノ兒輩儒書ヲ吳音ニ讀テ其吳音タルヲ知サルモ
宜ナリ固ク漢音ノニ讀ベキ者ナラバ儒書ノ標題モ易經詩
經禮記五經論語ト稱シテ文選韓詩外傳ト稱ベカラス何ノ
故ニ漢音ニ讀儒書ノ名ヲ吳音ニ唱ルヤ況ヤ詩文天文曆學算
數等ノ書ヲ讀ハ吳音半ニ居スラヤ吾門ニ深ク吳音ヲ禁セ
ズ字義ノ永カラサルヲ禁ズ

日本之四聲並發字

日本訓ヲ以スバ四聲ニ用ナシト云凡凡人ノ口ニ出ル音ハ萬
國大同シケレ漢土ノ四聲ヲ例セニ吾邦又四聲アリ自他
平常ノ說話永心四聲ナレ夫三用ナケレバ知サルノ漢土平常
ニ音ヲ用ルニ似タ音モ四聲ニテ夫々ニ分ル今 日本ノ訓ヲ平

上去三分テ彼邦ノ四聲ニ擬スル者左ノ如シ入聲ノ如キハフツクテ
 キニ平字ナレト云例ニ等ク紛ギニ非ズ橋端上箸直平
 寢根去垣平柳上蠟去日平樋上火去血平智上地去是等ヲ
 以其餘準ジ知ラレ也異域ニテハ書ヲ讀モ音ヲ以直讀シ
 日本訓ヲ以字ヲ反讀ガ如クハナレ故ニ書ヲ讀デ義ノ紛ギキ字ニ
 或ハ音註或ハ反切或ハ發字ノ圈ヲ點ズルアリ發字トハ論ハ
 長ノ字ハヤウノ音ナレ義ハナカレナガサタケオサナド訓ズル
 其義ニ因テ四聲異ナレ元來平字ナレバ平ヲ本音トシテナガ
 シト訓ズ仲良切 音場生長ノ長ハヒトナルト訓シ酒長ナドノヲサト訓ズ
 ハ上聲之展兩切 音掌モノ長サタケ又ハ多キ義ニテマサルト訓スル去聲
 也直亮切 音仗上去ニ聲ハ本音ニアザル故發音タリ多義トル字ハ

紛易キニ酒長生長長幾如此圈ヲ點ズ今此例ニ仍テ
 日本ノ四聲ニ訓ノ發字ヲ點ズル日景掛樋火箸日ノ
 訓呼平ナレ日景トツケ呼訓ハ上聲樋ノ訓上聲ナレ掛
 樋ト續訓ハ去聲之是準殊域四聲ノ分ル義理ヲ考
 見バ其呼法ノ如モ思半ニ過吾邦四聲ノ證字本居子ノ三音考ニ
 書スル最好シ愚亦取テコニ記ス上云
 反切
 印度ニ悉曇書アリ支那ニ切韻アリ文字ノ反切是ノタトハ仁ハ
 如鄰切ナレ如ヲ父字トシ鄰ヲ母字トシ清濁ハ父字ニ從ヒ四聲
 ハ母字ニ從フ如ノ字濁ユヘ仁ノ字濁鄰ノ字平ナルユヘ仁モ平字之
 韻鏡ヲ以字ヲ反切スル父字ヲ縱ニ引母字ヲ横ニ引行合ルハ衝
 ニ在モノヲ字子トスル例之毎字反切ヲ以スバ四聲清濁ニ誤ナク

字ヲ呼ノ正ヲ得ガエ切韻ノ法其根悉曇ニ出テ今ニ至テ音韻
 ラ正ノ規矩トス狀光ニ吾國迹世韻鏡ニ仍テ人ノ名字實名
 反切スルアリ其法其人ノ五性ト字ノ生剋トヲ以吉凶ヲ定ム字
 ノ性ハ所謂唇水舌火牙木齒金喉土也譬若木性ノ人ニ辰月ヨリ
 出ル音ノ字ハ水ニ属シ水生木ニシテ吉火性ノ人ニ齒ヨリ出ル音
 火剋金ナルユ凶トスル如シ而モ歸納ニ美字ヲ需シテ欲ス此事
 何レ比ヨリ權輿ニヤ殊域ニハ人ノ名字ヲ反切スルナシ反切ノ法
 ハ字ノ音韻ヲ正ス爲ニコソアレ是ヲ以名字ヲ求メ吉凶ヲ唱ル何
 ノ謂ゾヤ殊ニ生剋互ニ行レテコソ用ヲ相爲セ木モ金ヲ以剋セズ
 材ニ成ヘカラス金モ火ニ剋スバコソ其質ヲ成ス木ヲ水ニ投ズバ腐
 朽シ火ニ投ズバ灰滅ス水生木木生火ニシテ却テ傷ク聖人生

剋ヲ語ルハ五行ノ理ヲ述ルニ何ゾ字ノ生凶ヲコニ取シ然ル者
 乘ヲ反切一高貴紳縉專ヲ用ルニ愚等何少深ク教員辨セシ

日本國字反切

切音ノ法ヲ摸シテ 日本ノ國字ヲ反切スルヲ假字反ト云頗自在
 ノ妙アリ先前ニ圖ス縦横五十字ノ所位ヲ能暗認ニスレ而シ
 テ假字ヲ反ニキヨシヨリヨトマテ呼ヲ切音ト云切音ヲ字
 ニ約シ下思ハシヨハシヲ父字トシ縦ニ引ヨヲ母字トシテ横ニ引行
 合ルニルソヲ以字子トスシヨ反ソレ又アウ切ハ父字母字同
 縦行ニテ如此ハ母字横ニ行ヘキルナク其處ニ居テ父字ノアラ下
 へ母字ノ位ヘ引テ直ニウヲ取アウノ反ウレ又ウア切トスバ上へ
 母字ノアル切ヘ行テアヲ取ウアノ反アレ父字ガカリヲ上下引イッ

母字ハ其処ニ居ルハ父母縦ノ行ニ凡例外做之又キミ反ハ父字
母字同ク横行ニテリ加斯ハ父字縦ニ行ヘキルナク其処ニ居テ母字
ノミラ右ハ父字ノ処ヘ引テ直ニキヲ取キミ反キミキヲ反ハ左ヘ
父字ノアル処ヘ行テミヲ取ミキ切ミ之母字カリラ左右引毎父
字ハ其處ニ居ルハ父母横行ニ並ル例他做之總テ字子ハ母横
位ニ從ト知シ又清濁ハ父字ニ從ヒ開合只母字ニ從フト知シヨ反
之バゾト濁テ母字ノヨト同クロラ合セ呼音之如此レテ音ヲ反切ス
ニ叶サルナシ吾妻ニアルト云ラ約シテ吾妻ナルト云ハニア反ナク松
モ昔ノ友ナラナクニハ友ニアラナクニト云ラ約タルノ小忌衣イミ切ミ
ニ約シテヲ衣横ハヨリ反ヨニ約シテヨリ如此ナバ邊鄙何
トイフヲ何テウト云モトイ切チナバ不當ノ言氏云ガタシ又假

反ヲ以和訓ヲ知フモ自在ノ和訓ヨラヒト訓ジ月ヲキ一訓シ入ラ
シトト訓スル何ノ謂ゾト知フ吾ガ知巳ニ大村姓蜂住ト云者アリ
元禪學子ニ心ヲ寄ケル頻ニ倭學ヲ嗜テ彼ヲ捨テ是ヲ勤ム兼テ
萬葉ノ歌學ヲ好ミ日本假字反ヲ弄フ數年ニシテ頗其真
得多數風流ノ席ニ請レ歌書ヲ講説シ自教號シテ鈍通先
生ト稱ス始テ吾茅屋ニ訊來ル時愚抑節白石先生韓客ト
武ノ金城ニシテ筆談ノ書ヲ寫シ畢テ兩三輩ト其美才尤
ヲ論ジ卒爾ニ其冊ノ尾ニ律ヲ賦シテ曰

箕國文旆翺海東使星遙動彩雲中
千秋獻壽太平日萬歲講和詞客功
金殿陽春新發曲梁園白雪漫爭雄

當時筆舌懸河辨堪見本邦君子風

吾門ノ兩三子等々絶ヲ賦シテ英雄ヲ感シ彼蜂住ニ對シテ

公歌學ノ暇詩文ヲ好コラ知乞一首ヲ賦シテ巴調ヲ和セヨ彼怨

筆ヲ採テ書シ云

寸女加美乃美乃利古知左江和加宗久仁

宗登之留良女也登於津加良宇太

是ヨリ談話シテ和漢ノ書籍ニ及ビ日本書紀舊事故事ヲ如

吾朝ノ故記ヲ以其學ルヲ叩ニ其說不誣神代卷等ハ多假

字反ヲ以義ヲ解ス速人愚大ニ其說ヲ信ズ彼又愚ニ問ニ經書

ノ音義唐音ノ旨ヲ以メ愚ガ說ヲ悅ブ而モ約スニ學ルヲ互

換シテ各自ノ不足ヲ補フヲ以ス於ニ惜ベレ俄ニ黃泉ノ客ト成

一 音

テ約ラ走ス彼不幸ニシテ世ニ知ラズ著述ノ書アレ休女訓假

字反ノ書ニ刊布ス者ナレ假字切手引絲日本助語考解ノ

二書高ヲ見タリシ頗勤タリ恨ラハ鑄刻ニ及ステコニ和訓假

字切ヲ少ク記サント欲レ氏彼書ヲ刊板シテ其遺志ヲ嗣人アル

ト彼ニ讓テ閣之又假字反ヲ以漢字ノ音ヲ反切モ自在ナレ直

ニ其音ヲ得ト一反ニ反レテ得ト有テ事繁シタ上ハ音ノ讀カタ

キ字ニ遇時燼徒々切ナバ音トウナルゾト知ル狀ニ選丑凶切ナ

レハ音チウト讀ニ音ハチヨウ之加此ノ謬誤アリ世俗ニ百性讀ト

云モノニ同シ其直ニ得ト一反ニ反スト別一二ヲ記テ東德紅切ノ

如キハ直ニ音韻ヲ以知ラル音韻ハ徳ノ字ト音トシテ韻上父

字ノ音ト母字ノ韻トラ合セトウノ音ト九他做之賓必鄰切ハ

博拔切ノ類直ニ音ヲ知キウ宮居弓切モ拗音ナ尺直ニキウノ音ノ
 拗音ト前ニモ云如クキヨキヨウシヨシヨウクククシキヤウリヤウヤ
 シヤウノ類ヲ云比房脂切ハウジハシノ反ヒノ音ノ煉多動切
 タドノ反トニテトウノ音ノ母字ニ韻ア能ノ八都テ
字子ニモ其韻アリ春昌唇切ハシハウ
 反ユニテシユシノ音ノ莒尺良切セキリヤウセキリ反シテシヤウノ音ノ
 天他前切タセシタセノ反テニテテシノ音ノ乾渠焉切キヨエキヨ反ケ
 ニテケンノ音ノ是等一反シテ得ル者ノ麻莫霞切バカバクノ反バ
 又ブカノ反バノ音ノ加季方加切チヨカチヨ反ド又トカ反ダノ音ノ蔓
 母官切ボクガハノ反カ又ボカ反バニテバシノ音ノ是等二反シテ得者ノ
 如是反切スレバ其音ニ叶サルナレト云凡甚駁差スルニ似テ識者ハ味シ

唐音

唐音ハ唐土ニ呼如ノ字音ノ漢音吳音俱ニ唐土ノ音ニシテ別
 ニ唐音ノ名アルハ殊庭字音ヲ變ジタル中古以來ノ音ノ吾邦
 應神帝人王第
ト六主ノ御時百濟ノ王仁論語等ノ書ヲ推ク來ルヲ
 太子仁德
帝師トシ學トシ王トシ是ヲ漢音傳來ノ始トシ殊庭西晋武
 帝ノ時ニ當バ其舊トシ知ル又吳音傳來ハ大織冠鎌足トシ攝
 政ノ時トアレ異朝ハ初唐ニ當ル久キ間ニ殊庭字ヲ呼音
 ノ變化シタルヲ吾朝傳來ノ音ニ異ユ是ヲ唐音ト號シタル唐
 音ヲ知ベキハ九ノ如ク誦認テ字ニ向ハ何ノ字モ唐音ニ讀ム
 ウ三 イニ 跳者跳 拗音入聲俱七胸 捨拗往直
 相通

- 一之五 五又之二 二本韻 三之五 五又之三 四之一

ウ三ト東ノ字ノ如キ韻ヲウト呼モノ音ノ五音ノ三行下ヲ跳ル
ト音上レウラ韻トスル前段ニ徳ノ字ヲ以テ示如シ音ノ五音ト東
ト音ナババタチツテト三行東ト呼ハコウノ字ナラバコ音ノ三行カキ
クケコニ六クナバ公ト呼下ヲウト呼字アウイウエウカウキウウ
ケウサウシウスウセウソウタウチウツウテウハウフウヘウホウマウ
ヨウラウリウレウロウワウヲウ皆同ク其五音ノ二行韻ヲ跳ル
○イニト明ノ字ノ如ク韻ヲイト呼モノ音ノ五音ノ二行下ヲ跳ル
ノ音ナババニ三四五ニ行明ト呼清ノ字ナラバセ音ノ二行サニセ
ニ六レナバ清ト呼下ヲイト呼字アイエイカイケイサイスイタイ
テイハイヘイライレイ皆同ク其五音ノ二行テ韻ヲ跳ル○跳
音跳ル仙ノ字ノ如キ韻ヲ跳ルモハ直ニ仙ト呼賢ノ字ナラバ唐音

モ賢ノ下ヲ跳ル字アニウニエンラシカシクンコンサシソシタン
チシテトシヒシフシヘシホシラシリンシロシワシナシシシシメシモシ抑
音ノクンシシシ皆其マ跳テ呼也○抑音入聲俱切脚トハ所ノ字
ノ如キ抑音ハ韻ノヨヲ捨テ音ノシヲ以テ所ト呼去ノ字ナラバヨヲ捨
テ去ト呼下ニ呼韻ヲ捨テ以脚ヲ切ト云チヨリヨシヤクハ皆同脚
ヲ切テ上ノ音一字ヲ呼又習吉福曆ノ如クフウクキヲ韻ニ呼ハ總
入聲ニ是モ韻ヲ捨テ習吉福曆ト呼此故ニ抑音モ入聲モ脚ヲ
切ト云アフイフエフカフキフケフサフセフタフチフテフフフラフレフ
アツイツウエツカツクツケツコツサツシツセツソツタツチツネツトツ
ツヒツフツヅツラツリツレツアツイクツクカクキツコクサクシツクタク
チクトクハクホクマクヨクラクリクロクワクイキエキヘキテキ皆入聲

之同ク脚ヲ切テ呼之 ○捨拗往直トハ重ノ字ノ如キ拗音ハ前ノ假字
反ヲ以テテチヨヲ反セバトナル期シテウ韻ナルハウニ例ニテト音ノ
三へ行タチツテトツヲ取テ重ト呼チヨウノ拗音ヲ約シテトウノ直音
ニスルヲ直ニ往ト云掌ノ字ナクシヤ反ササレセツ三へ行掌ト呼也
キヤウキヨウシヨウチヤウチヨウリヨウクウヒヨウ皆直音ニ約シ
ウニ例ニシテ下ヲ跳之又回ノ字ノ如キハクワノ反カカキケケコニへ行テ
回トナル韻ヲイト呼ハイニ例ニシテ下ヲ跳ル又入聲ノ拗音述ノ字
ノ如キハジヨ反ズジユツラズツト約シ切脚スレ述トナル怵ノ字ナラバ
ヂヨ反ツツツヲ切脚シテ怵ト呼シヨクシヤクイヤクキヤクイヨクキヨク
リヨクリタチヨクチヤク拗音ノ入聲皆同ジ此外順官ノ如キ拗音
ノ跳ル字ノ直ニ往トナレ下ニウイノ韻ト入聲ノ拗音直ニ往ナリ

○相通トハ五音ノ内ニシテアヒカヨフ之是ハ一字ツノ音ニ元韻
ナキモノ相通ノ例ヲ用ユ一之五ト多ノ字ノ如キハタチツテト
ノ五ヘ之テ多ト呼歌ノ字ナラバカキケケコ歌トナル又五之ニ故ニ
土ノ字ハタチツテト土トナル古ノ字ハカキケケコ古ト呼之アサハヤフ
ワノ如キ第一ニアル音ハ第五ヘ之ヲソホヨロノ如キハ一ヘ之ト做之
○二ハ本韻トハ掛通ニ段目ノ横行イキシチニヒミ井リイノ音
ハ其マ、唐音ニ呼フノ韻ノ字下ニ呼ヒキノ義ニアラズ音ト云ニ
同ジ然ルニ四之ニユヘニモ又四ヘ之テ伊ノ字ハアイウエヲ伊ト呼
幾ノ字ハカキケケコ幾ト呼ベシ○三之五トハ扶ノ字ナラバヒフヘ
ホ扶ト呼五又之ニユヘ甫ノ字ノ如ハヒフヘホ甫トナル之ウク
ノ如キ五音ノ三ニアルハ皆五ヘ之ヲコソトヨロノ如ク第五ニアル三

へシテ皆同シ○四之ニハ五音四段ノエケセテ子へメエレハ二
段ノイキシ子ニノ音ニ通ズルヲ云然氏漢音ニ一字ニテエケセテ
子等ノ音ナシ相通ノ理ヲ知ントナラハ清ノ字サシクセソ四ヨリ二
之テ清ト呼題ノ字タチツテト題トナルイテ例ナル者は是ニ當リ
ハ異ナリ例以上唐音ヲ讀ベキノ一隅ヲ舉兒童三隅ヲ以反フセヨ
一二三ノ數位モ前ノ縱横五音五十字ノ圖ヲ以知レシ唐音法
コニ出マ上云氏適異モノアリ陶遙繇搖瑤ノ字唐音イユト
呼類アリ又陽ノ字如キイヤ反ヤニシテヤ井ユエヨノ三へ行テ陽
ト呼イヤノイハアイウエヲノイニ非ズヤ井ユエヨノ井之又庸ノ字
如キハイヨ反ヲニシテアイウエヲノ三へ行テ庸ト呼イヨノイハマ
井ユエヨノ井ニアラズアイウエヲノイノ字音ノ出ル処ヲ知テ共

々ノ行ニ父字ヲ定ムベシ然ザレバ反切違音ニ的ス又古來ヨ
リ平常ニ唐音ヲ呼來ルリ普請松江春經ノ類片字ハ
唐音ヲ父呼フ何ノ故ヲ知ズ總テ音韻巨細ヲ盡テ容易チ
ラズ其梗槩ヲ示シ

華音

華音ト云モ唐音ト云ニ同シ唐土ヲ中華ト稱ス其音ナレハ華音
ト云ルニ專華音ト云モノ前ニ云唐音ニ異ナリ是又殊庭ノ訛
轉之然ルニ華音ヲ唱ル者ハ云往昔漢吳二音本邦傳ト云
今ニ考校スニ四聲散亂シ七音乖舛シ清濁輕重交謬テ
正律ニ協サズ果シテ唐土ヨリ傳ルモノカ怪ベシ音日傳來スルハ
都テ正音ニアラザレ俱ニ吾邦ノ和音ト謂フシ獨華音ヲ呼

法嚴密開合清濁條理分明華音華字所以也上其
 華音上云モノ異國ノ人ニ呼ルル譯家專此ヲ學ブ其他
 音韻ヲ學ビ唐土ノ呼法ヲ知シテ欲スル者是ヲ知ザルハ今ニ合
 其字ヲ呼フ前ニ記スモノニ異ナリ平上去入天子聖哲ノ
 如ク前ニ出ル唐音ヲ右旁ニ記シヨニ云華音ナル者ヲ左旁
 ニ書シテ萬葉伊呂波ノ文字ヲ以異ルヲ知シ唐音ト華
 音ト別物ニアラス都テ名ハ唐音ニ呼フノ差ハ殊庭字ヲ呼フ
 時ニ從テ轉ジタル之抑華ハ廢美ノ號ニシテ華ニ對スル夷也
 己ラ華ト以テ呂波仁保邊登
 シ他ラ夷ト知テ利奴雷遠和加
 ス大唐ト與テ太連曾津彌奈

稱シ大日良武宇為乃於久
 本國上嘉也末計不古江天
 キモ大八美安左幾油女美之
 稱也前殿惠比毛世寸京
 モ述ル如唐一伊二比毛世寸京
 土人自國ハハ九十百千萬億
 ヲ美稱シテ中華ト他ヲ四夷ハ蠻ト稱ス左凡ギナレ殊庭
 華ヲ以驕号ス從テ吾日本ヨリ彼ヲ華トシ其音ヲモ華音
 上ル日本ヲ己ヨリ夷上ル吾朝享保前後古學ヲ唱ヘテ
 大儒ト呼ル人ノ著書ニ間彼ヲ唱テ華トスラ見學フ処何ヤ
 大體ヲ知サルト云ベシ世ニ鳴テ他是ヲ大儒トスル愚ハ信ズ白石

先生トドク書ニ彼ヲ称シテ華ト云ラ見ズ或人云殊庭ヲ大唐ト
 称ス大ハ美称ト云尼又大小ノ大之唐土邦域ノ大尤吾日本東
 海ノ方ニ凡粟散ノ徧國ノ比ニ非ズ大唐ト云モ理ノ當ル所足下
 ノ説強テ他ノ大ヲ忌妬スニ似タリ答云公經書ヲ學ビテ未天學
 ニ及ズ地理ヲ知ズ愚螢雪ノ寸暇ヲ得テ天文及曆數ノ學ヲ
 嗜テ粗其畧ヲ聞ケリ爲ニ是ヲ説シ凡地實ニ載ル萬國ノ夥
 シキ是ヲ五ツニ分チ五大洲ノ名アリ白亜細亞曰歐羅巴曰利未
 亞曰亞墨利加曰墨瓦臘泥加亞墨利加ニ南北ニツアリ合テ六大洲トス日本
 支那印度韃靼等ノ諸國コレヲ亞細亞ニ屬ス萬邦坤輿ニ
 連滿シテ其土域唐土ニ倍スモ其數ヲ知ヘカラス獨唐土ヲ以大
 國ト思ル井底ノ蛙亀海川アルヲ知ルニ等ク莊子ガ北溟ノ魚

ト蚊ノ睫ニ巢ノ寓言モ大ヲ知ズ小ヲ知サルノ病ヲ醫ベシ吾邦ヲ粟
 散ノ徧國ト思モ又實ハ不然覆載ノ間ニ在萬邦ノ各々乾坤ノ
 大ナルニ比スル唐天竺チク如モ眼齒粟ヨリ少シトス唐ヨリ日本ヲ指テ
 粟散國或ハ東夷孤島ト云モ實ニ五十歩ニ止テ百歩ニ走ル
 ヲ笑夫之天地ノ廣大ナル何レヲ中トシ何レヲカ徧トセン各國各地皆天
 地ノ中ナルヲ知テ始テ乾坤ヲ譚ベシ韓氏天地人ニ通スル儒ト
 謂ト云スヤ往時ノ聖神大道ヲ闢建シ後小道ニ至テ萬事
 古ハ疎ク今ハ密ト云氏字音ノ如キハ一概ニ今ヲ正トシ古ヲ非スベ
 カラス儀禮官服ノ如キ殊庭明ノ太祖適胡元ニ代テ天歷ヲ得
 タルモ今時清ニ草命スル先王ノ法服ナリヤ先王ノ法言ナリヤ殆
 知カラス孔子ノ春秋華夷ノ辨嚴重ナルヲヤ

音訓國字格 乾卷終

音訓國字格 坤

音格目

- アウアヲロウヲウヲフ之別
- カウカフコウコラクウ之別
- サウサフソウ之別
- タウタフトウトフ之別
- ハウフホウホフ之別
- ヤウヨウエウエフ之別
- ラウラフロウ之別
- イウユウイフユフ之別
- キウキフ之別
- シウシフ之別
- チウチフ之別
- リウリフ之別
- シヤウシヨウセウセフ之別
- チヤウチヨウテウテフ之別
- キヤウキヨウケウケフ之別
- リヤウリヨウレウレフ之別

- ヒヨウヘウヒョウフ之別
- ミヤウメウ之別 吳音
- ニウモウ之別 吳音
- ナウノウチフ之別 吳音
- ミウニョウ子フ之別 吳音

訓格目

- イ井ヒ之別
- ヘエエ之別
- ホヲオ之別
- ハワ之別
- ウフ之別
- 濁假字之別
- ツ内外之別
- ムニ開合之別
- 訓之相通

音訓國字格

坤

武江 高井伴寬思明述

國字音格

字音ヲ國字ニ書スニ直音ハホウウツフカウコウノ類
 音ハシヤウシヨウキヤウキヨウノ類ニ誤其委曲ハ韻學ニアリ
 テ俄項ニ得ガタシト云氏本ク処ヲ左ニ誌シテ疑惑ナカラシラテ欲ス
 アウアフワウヲウヲフ之別

アウ 映 柳 拗 恠 咬 奧 隩 媪 鑿 嚶
 鴛 盜 賜 鸚 鸚 櫻 類 江 春 豪 陽 唐 庚
 耕 清ノ韻ニ屬スル字ハ平上去俱ニアウ也
 アフ 呬 始 迄 押 聞 鴨 壓 ノ類 合 盍 洽

押ノ韻ニ屬スル入聲ノ字ハアフ也

ワウ 王キミ 尪シハ 枉ガ 旺サカ 往ユク 汪ツツ 吳音ノ皇スベ 黃キ 横ヨ

凰ホウ 類陽唐 度耕清ノ韻ニ屬スル字ハワウ也

ラウ 翁オキ 雍イモ 歐ク 鷗カモ 謳ウタ 漚ヒタ 吳音ノ應タ 膺ウチ ノ類

東トシ 尤イウ 侯幽 蒸登ノ韻ニ屬スル字ハシウ也

ヲフ 吳音ノ邑ムラ 始ハジメ ノ類入聲ユヘシフ也

カウカフコウコリクハウ之別

カウ 江エ 控ヒク 講コウ 項キョウ 巷チヤウ 降カウ 肴サカ 校カウ 教キョウ 巧キョウ 高カウ

又マタ 交カウ 吳ニ 告コウ 耗コウ 好コウ 吭コウ 糠コウ 岡コウ 剛コウ 行コウ

更サラ 庚カン 耿タウ 亨コウ 吳音ノ香コウ 向コウ 仰コウ 響コウ 強コウ

薑カウ 類江 香カウ 豪カウ 陽唐 度耕清ノ韻ニ屬スルカウ也

カフ 閣カフ 蓋カフ 多カフ 合カフ 蛤カフ 盍カフ 嗑カフ 恰カフ 甲カフ 狹カフ 洽カフ

窳カフ 狎カフ 匣カフ ノ類合盍洽押ノ韻ニ屬スル入聲ノ字

ハカフ也

ノウ 孔ノウ 空ノウ 汞ノウ 公ノウ 工ノウ 貢ノウ 功ノウ 攻ノウ 洪ノウ 紅ノウ

虹ノウ 倥ノウ 颯ノウ 肯ノウ 肱ノウ 且ノウ 溝ノウ 侯ノウ 苟ノウ

吼ノウ 鈎ノウ 厚ノウ ロノウ 狗ノウ 后ノウ 寇ノウ 薨ノウ 弘ノウ 恒ノウ

吳音ノ興ノウ 兢ノウ 疑ノウ ノ類東冬蒸登尤侯幽ノ韻

屬スルハコウ也

コフ 吳音ノ劫コフ 跽コフ 業コフ 閤コフ 脅コフ 泣コフ 及コフ 急コフ ノ類

入聲ユヘコフ也

クハウ 黃クハウ 遑クハウ 惶クハウ 廣クハウ 皇クハウ 凰クハウ 蝗クハウ 曠クハウ 荒クハウ 絃クハウ

光^ト横^ミ轟^トノ類陽唐庚耕清ノ韻屬^ハハクハ也
サウ^カ切ソウ^ノ之別

サウ^カ窓^マ雙^マ草^マ巢^ス瓜^マ早^ハ騷^マ抄^マ稍^マ

竈^ト嘈^ト噪^ト燥^ト棗^ト造^ト燥^ト藻^ト倉^ト霜^ト

喪^モ裝^マ藏^マ臧^ヨ傘^マ鎗^キ吳^音ノ相^ニ想^ス在^ル

類江肴豪陽唐庚耕清ノ韻ニ屬^スハサウ也

サフ^カ颯^カ雜^カ帀^カ駮^カ抽^カ笈^カ扱^カ筴^カ笈^カノ類

合^カ盍^カ洽^カ狎^カノ韻ニ屬^ス入^ル聲^ノ字^ハサフ也

ソウ^カ聰^カ送^カ叢^カ宗^カ宋^カ敷^カ走^カ嗽^カ湊^カ僧^カ

憎^カ贈^カ層^カ增^カ曾^カノ類東冬蒸登尤侯幽

ノ韻ニ屬^スル字ハソウ也

ソフ字ノ音ニ此假字ナシ

タウ^カタフトウトフ之別

タウ^カ撞^カ椿^カ幢^カ鬧^カ嘲^カ詭^カ擢^カ濤^カ道^カ盜^カ

島^ト踏^カ陶^カ擣^カ討^カ逃^カ鞫^カ箱^カ刀^カ倒^カ

堂^カ塘^カ唐^カ湯^カ當^カ橙^カ澄^カノ類江肴豪陽

唐^カ庚耕清ノ韻ニ屬^スルハタウ也

タフ^カ塔^カ榻^カ答^カ納^カ沓^カ還^カ柎^カノ類合盍ノ韻ニ

屬^スル入^ル聲^ノ字^ハタフ也

トウ^カ凍^カ凍^カ童^カ痛^カ瞳^カ同^カ通^カ桐^カ冬^カ農^カ

統^カ等^カ登^カ能^カ藤^カ燈^カ鼗^カ寶^カ豆^カ頭^カ

投^カ偷^カ斗^カ透^カ逗^カノ類東冬蒸登尤侯幽

ノ韻ニ属スルハトウ也

トフ 吳音ノ答カ沓カ踏キノ類入聲クトフ也

ハフハフホウホフ之別

ハフ 邦クニ棒ツエ泡ス庖ク昂ホシ印ウ包マ鞆ナ砲ト報ムク

毛ケ老オ衰ヒ保ホ寶タカ帽カ暴カラ方カタ房フ坊フ

望シ亡シ忘シ旁カ萌キ棚ナ盲メノ類江カウ有カウ豪カウ

陽唐ヤウ庚カウ耕カウ清セイニ属スルハフ也

ハフ 法リ乏シ祛ヤノ類業ゲ乏ハノ韻ニ属スルハ聲ノ字ハハフ也

ホウ 豊ユ霄カ霄キ曹サウ蒙クラ蜂チ奉タテ捧サ縫フ縫フ朋トモ

崩ク部シ戊ツチ剖サク衰ムノ類東トウ冬トウ蒸シウ登トウ尤イウ侯コウ

幽イウノ韻ニ属スルホウ也

ホフ 吳音ノ法リ乏シ祛ヤノ類入聲クトフ也

ヤウヨウエウエフ之別

ヤウ 洋ヤウ陽ヤウ養ヤウ羊ヤウ揚ヤウ央ヤウ聖ヤウノ類吳音

拗ヤウ永ヤウ榮ヤウ影ヤウ英ヤウ盈ヤウノ類陽唐庚耕清

肴ノ韻ニ属スルハヤウ也又イヤウノ拗音也

ヨウ 雍ヤウ勇ヤウ離ヤウ踊ヤウ用ヤウ傭ヤウ庸ヤウ容ヤウ乃ヤウ騰ヤウ

鷹ヤウ膺ヤウ子ヤウ應ヤウ蠅ヤウノ類冬ヤウ蒸ヤウ登ヤウノ韻ニ属スルハ

ヨウ也又イヤウノ拗音也

エウ 陶ヤウ腰ヤウ鷄ヤウ妖ヤウ謠ヤウ妖ヤウ夭ヤウ杳ヤウ耀ヤウ瑤ヤウ

搖ヤウ要ヤウ遙ヤウノ類蕭ヤウ宵ヤウ韻ニ属スルハエウ也又イヤウノ

エフ 厭ヤウ厭ヤウ饒ヤウ葉ヤウ擘ヤウ燁ヤウ浥ヤウ浥ヤウ哀ヤウ厭ヤウノ類

音訓下

音訓下

キウ宮ミヤ躬ミ弓ユミ窮キウ丘ユカ牛ウシ久キウ舅キウ仇キウ求モト
鬪ムコウ韭シラ疾イタ毬テマ灸ヤイ朽ク枢キウ休キウ舊キウ臼ウ
蚪トウノ類トウ東トウ尤イウ幽ユウノ韻ニ屬シヨクスルキウ也
キフ急シカ給カ多タ汲キツ泣ナク翁アウ笈アキ關カン級キウ及キフノ類
緝シツノ韻ニ屬シヨクスルハ聲シヤウノ字ハキフ也

シウシフ之別

シウ衆オ冬トウ蝨シ戎ジウ終シウ崇シウ琿シウ充シウ秋シウ州シウ獸シウ
手テ愁シウ囚シウ狩シウ授シウ酬シウ羞シウ售シウ鞅シウ酒シウ
緩クワン就シウ收シウ袖シウ繡シウ周シウ秀シウ臭シウノ類トウ東トウ
尤イウ幽ユウノ韻ニ屬シヨクスルシウ也又シウノ抑アウ音イ也
隰シツ緝シツ習シツ入イル拾シツ執シツ什シツ汁シツ楫シツ十シツ濕シツ

集シツ茸シツノ類トウ緝シツノ韻ニ屬シヨクスルハ聲シヤウノ字ハシフ也

チウチフ之別

チウ中チュウ忠チュウ蟲チュウ仲チュウ種チュウ衷チュウ冲チュウ疇チュウ宙チュウ曹チュウ
畜シツ肘チュウ絲シ惆チュウ紐ニウ耐ナイ紬シウ躄シツ綯シウノ類
東トウ尤イウ幽ユウノ韻ニ屬シヨクスルハチウ也又シツ株シツ柱シツ廚シツ
註シツ誅シツ音シツチウシツ氏シツチウシツ呼フ來ライリ

チフ蟻シツ執シツ系シツ滂シツ子シツ孫シツノ類トウ緝シツノ韻ニ屬シヨクスルハ聲シヤウノ字ハチフ
又シツシウトシウチウトシウ自ジララ別ベツ氏シ濁シツ混シツ混シツ易シツ講シツ中シツ臨シツ終シツ
什シツ室シツ文集シツノ類トウ誤シツ勿シツレ

リウリフ之別

リウ流リウ潘リウ畎リウ雷リウ驪リウ劉リウ疇リウ雷リウ柳リウ旒リウ

疏シノ類リ尤ウ侯コウ幽ユウノ韻ニ屬スルリウ也

リフ立タ多タ粒リツ竹ツク立タノ類リ緝シツノ韻ニ屬スルリ入ニ聲ノ字ハリフ也

シヤウシヨウセウセフ之別

シヤウ章象カ牆キヤウ將シヤウ掌シヤウ詩シ湘シヤウ近シヤウ障シヤウ故シヤウ毛シヤウ上シヤウ

昌シヤウ尚シヤウ相シヤウ賞シヤウ傷シヤウ翔シヤウ嘗シヤウ詳シヤウ樟シヤウ裳シヤウ

尚シヤウ槍シヤウ祥シヤウ唱シヤウ常シヤウ子シヤウノ類リ吳シヤウ音ハ莊シヤウ清シヤウ井シヤウ

情シヤウ淨シヤウ靜シヤウ請シヤウ精シヤウ生シヤウ性シヤウ省シヤウ青シヤウ星シヤウ

成シヤウ政シヤウ正シヤウ整シヤウ成シヤウ聖シヤウ爭シヤウノ類リ陽シヤウ唐シヤウ庚シヤウ

耕シヤウ清シヤウ青シヤウノ韻ニ屬スルリシヤウ也

シヨウ松腫シヨウ種シヨウ從シヨウ衝シヨウ縱シヨウ苜シヨウ聳シヨウ鍾シヨウ鐘シヨウ

頌シヨウ訟シヨウ訟シヨウ訟シヨウ訟シヨウ承シヨウ蒸シヨウ證シヨウ乘シヨウ稱シヨウ承シヨウ

昇シヨウ勝シヨウ繩シヨウ外シヨウ仍シヨウノ類リ冬シヨウ蒸シヨウ登シヨウノ韻ニ屬スルリシヨウ也

セウ霄セウ瀟セウ沼セウ瞧セウ笑セウ嘯セウ蛸セウ篠セウ少セウ小セウ

樵セウ照セウ椒セウ詔セウ嬲セウ莨セウ繞セウ紹セウ招セウ肖セウ

簫セウ燒セウ消セウ樵セウ道セウノ類リ蕭セウ宵セウノ韻ニ屬スルリ

セウ也又コレシヤウトモ書ベシ

セフ敵セフ睫セフ妾セフ接セフ涉セフ筆セフ燧セフ捷セフ摺セフ葉セフ

決セフノ類リ葉セフ帖セフノ韻ニ屬スルリ入ニ聲ノ字ハセフ也

シヤフ字ノ音ニ此假字ナリ

チヤウチヨウテウテフ之別

チヤウ仗長チヤウ脹チヤウ帳チヤウ娘チヤウ腸チヤウ杖チヤウ丈チヤウ丈チヤウ丈チヤウ帳チヤウ

張カ暢カウノ類吳音ハ打ウ俵ヒラ臆カウ裳カウ貞カウ頂カウ
丁カウ鄭カウ聽カウ汀カウ挺カウ定カウ町カウノ類陽唐カウ

耕カウ清カウ青カウノ韻ニ屬スルハキョウ也
キョウ重カウ醜カウ冢カウ微カウ盥カウ澄カウ懲カウノ類冬カウ蒸カウ登カウ
ノ韻ニ屬スルハキョウ也

テウ朝カウ召カウ貂カウ鷗カウ釣カウ吊カウ調カウ挑カウ眺カウ彫カウ
肇カウ飛カウ凋カウ施カウ桃カウ鳥カウ條カウノ類蕭カウ宵カウ
韻ニ屬スルハテウ也又コレヲキョウトモ書

テフ蝶カウ躡カウ捻カウ蝶カウ貼カウ疊カウ執カウ牒カウ鐳カウ
疊カウ帖カウ輒カウ喋カウノ類葉カウ帖カウノ韻ニ屬スルハテフ也

キョフ字ノ音ニ此假字ナシ

又シヤウキョウセウテウ自カウ別カウ比カウ濁カウルトキハ混カウジ
昂カウ敏カウ昌カウ丈夫カウ燒カウ亡カウ條カウ目カウノ類誤カウベカラズ
キョウキョウケウケフ之別

キヤウ郷カウ疆カウ仰カウ養カウ姜カウ况カウ強カウ況カウ
匡カウ莖カウ香カウ薑カウ吳音ハ京カウ敬カウ慶カウ勁カウ輕カウ
卿カウ頸カウ迎カウ競カウ頃カウ兄カウ行カウ刑カウ幸カウ馨カウ
脛カウ經カウ徑カウノ類陽唐カウ庚カウ耕カウ清カウ青カウノ韻ニ屬スルハ
キヤウ也

キョウ蜂カウ恐カウ胸カウ拱カウ供カウ共カウ鞏カウ凶カウ興カウ疑カウ
ノ類冬カウ蒸カウ登カウノ韻ニ屬スルハキョウ也

ヒヤウ 呉音ノ平^{タフ}兵^ヒ病^ヤ柄^エ瓶^カ並^ナ許^ハ萃^ク筭^ソ
ノ類^{カク}庚^{カク}耕^{カク}清^{セイ}青^{セイ}ノ韻ニ属スルヒヤウ也又ハ漢音ヘウ
ト云ラヒヤウトモ書

ヘフ 鷓^ヤ鴒^ラノ類^{ユフ}葉^{テフ}帖^{テフ}ノ韻ニ属スル入^ニ聲^ノノ字ハヘフ也
ミヤウメウ之別 吳音

ミヤウ 明^{アキ}名^ナ命^イ名^ナ若^チ冥^クノ類^{カク}庚^{カク}耕^{カク}清^{セイ}青^{セイ}ノ韻
属スル字漢音ハベイ也

メウ 苗^ナ猫^ネ妙^テ眇^ス貌^カ夕^セノ類^{セウ}蕭^{セウ}宵^{カウ}有^{カウ}豪^{カウ}ノ韻
ニ属シテ漢音ハベウハウ也

ミヤフ 字ノ音ニ此假字ナシ 字音ニナキ者ヲ知シルハ何ノ
故ゾナラズ愚^グ嘗^{カフ}テ市^シ塵^{テン}蠟^{ラフ}燭^{ソク}ヲ賈^{アキ}招牌^{カサシ}ニ口^クフソク

ト書ルヲ見^ミ或^ハ糝^シヲ水^{スイ}ニ和^カシ暑^{ショ}中^{チュウ}ノ往^ウ來^{ライ}ニ商^{シヤウ}フ掛^カ牌^{パイ}
ニ大^{ダイ}書^{ショ}シテ道^{ダウ}明^{メイ}寺^ジ其^キ旁^{ホウ}ニ國^{クニ}字^ジヲ附^{ツク}シトフメヤフ

チトアルヲ見^ミ是^シ字^ジヲ知^チテ假^カ字^ジヲ知^チサルノ誤^アナラズヤ故^コ
ニ悉^{シツ}ク音^{オン}ニナキモノヲ誌^シス豈^ア識^シ者^{シヤ}ノ爲^ニナラン其^キ煩^{バン}シ

キラ訝^イナカレ
一ウモウ之別 吳音

ニウ 厖^{オホ}帽^{カシラ}モケ 亡^{ホウ}妄^マ妄^マ莽^{マウ}茫^{マウ}罔^{オウ}ノ類
江^{カウ}豪^{カウ}陽^{ヤウ}唐^{タウ}ノ韻ニ属スル字漢音ハウ也孟^{メイ}猛^{メイ}孟^{メイ}猛^{メイ}

音^{オン}メクラハ吳音ミヤウ也今一ウニ作^{ツク}ルミヤ^カ反^カ一^ニモウニ
作^{ツク}ルハ非^ヒ

モウ 曹^{ソウ}惜^{シツ}ノ類^{レウ}蒸^{テイ}登^{テイ}ノ韻ニ属スル字漢音ホウ也

世家^{シカ}朦^{モウ}夢^ムノ類東冬ニ属スル字吳音モムト
讀^{ヨム}モノ又モウニ作ル

モフ
字ノ音ニ此假字ナシ

ナウノウナフ之別 吳音

ナウ 孫^ソ腦^{ノウ}磁^チ腴^ユ囊^{ノウ}囊^{ノウ}ノ類豪陽唐ノ韻

ニ属スル字漢音タウ也

ノウ 能^{ノウ}盈^{エイ}聃^{タン}ノ類蒸登ノ韻ニ属スル字漢音トウ也農^{ノウ}

膿^{ノウ}ノ類父^フノ韻ニ属シ吳音又也今ノウニ作ル

ナフ 納^{ナフ}納^{ナフ}衲^{ナフ}ノ類合盍ノ韻ニ属スル入聲ノ字漢

音タフ也

ノフ 字ノ音ニ此假字ナシ

ニヤウニヨウ子フ之別 吳音

ニヤウ 繞^{ニヤウ}尿^{ニヤウ}撓^{ニヤウ}勑^{ニヤウ}釀^{ニヤウ}孃^{ニヤウ}穉^{ニヤウ}繞^{ニヤウ}饒^{ニヤウ}

ノ類蕭宵陽唐ノ韻ニ属シ漢音ハタウテウシヤウ也

ニヨウ 聾^{ニヨウ}聵^{ニヨウ}仍^{ニヨウ}耳^{ニヨウ}認^{ニヨウ}ノ類江蒸登ノ韻

ニ属シ漢音タウシヨウ也

子フ 譟^{子フ}聶^{子フ}捻^{子フ}ノ類葉帖ノ韻ニ属スル入聲ノ字漢

音ハテフセフ也

ニヤフ 字ノ音ニ此假字ナシ

以上一ヲ擧テ其他ヲ准テ知セン爲證字五六字ツラ記スモノ

也都テ其々ノ韻ニ属スルハ五音ノ圖ノ横行ニ從フ横行ノ第一

アカサタハ陽唐庚耕清看豪江ノ韻 アウカウサウタウノ

類ノ音コレニ属ス第二イキレチニノ行ハ東冬尤侯幽ノ韻イウ
キウシウチウ又ハキョウシヨウノ類ノ音コレニ属ス第三ウク
スツ又ノ行ハ東虞模尤侯幽ノ韻クウスウツウノ類ノ音コレ
ニ属ス第四エケセテ子ノ行ハ蕭宵ノ韻エウケウセウテウ
ノ類ノ音コレニ属ス第五ヲコソトノノ行ハ東冬蒸登ノ韻
ヲウコウソウトウノ類ノ音コレニ属ス都テ如此ナドバトハ
ホウカチカタクハ其字ノ韻ヲ見ル也東又ノ韻ハヲコソトノ
ホモヨロオユホウノ假字ト知ル陽唐ノ韻ノ字ナバアカサ
タナハヤラワユハウノ假字ト知ル如シ下ヲフト云ハ入聲ニ限ル
也又抑音ノイヤウイヨウキヤウキョウシマウシヨウチヤウチヨウ
ニヤウニヨウヒヤウヒヨウミヤウミヨウリヤウリヨウハ五音第二

ノ横行イキレチニヒミ井リイニアツテ其他ノ横行ニウト
引抑音ナシ又直音ウト引モノ第一ノ横行アカサト第五
ノ横行ノ行ト相似ルヲウカウソウタウチウホウモウヨウノウ
ホウ第二ノ横行イイ子ト第四ノ横行子行ト太ニ似サレ
ウク近シエウケウセウコレヲ一方抑音ニスバ大ニ似タリイヤウキヤウ
セウチヤウニヤウヒヤウミヤウ井ヤウリヤウイヤウサバカウ似タレ
別ニキヤウ等ク用ル如キアバ能五音ノ出ルヲ知シテ誤ナカレ
又イ井ヲオエエハ輕重ノ別アル音ニ相通シテ用來レリ

國字訓格

字訓ヲ假字ニ書スルニイ井ヲオハ同音ニ認リイヒヲホハ
異音ニ認ル五十字ハ縱横ニ相通シ各其ノ音ニ通フ

ヲ知リ伊呂波四十七字ハヒフノホノ五字ワイウエオニ通フ
アルヲ辨ヘ而シテ訓ノ假字ヲ解得ベシ必シモワイウエオ五字
ニ要アル之其通フ假字ヲ知シタル詞ノ哥ニ云

色ハ雖艶散去ヲ我世誰ゾ則常有爲ノ奥山
今越テ淺キ夢不見醉モ不爲

此哥詞則ハラワト讀ホヲオト讀ヘラエト讀フヲウト讀
ヒライト讀テハヒフヘホトワイウエオト通フアルヲ悟セル之此

詞諸行無常是生滅法生滅滅爲寂滅爲樂ト云浮屠
ノ經文ノ意ニ合シタル也トテ諸說アレモ愚ハ取用ス唯ハフ等ノ

通フヲ示スニ用有テ其餘詞ノ意味ニ用ナシ元來浮屠氏ノ手
ニ出タル釋門ニ諸說アラシモ宜之緒五十字ノ内ニイニツウニエ

ニツ同音同字ニ似用異ナリ又イヲエ輕ク井オエハ重シウニモ
輕重アル之下ノウノ字ニ於テ解説スル如シ

イ井ヒ之別

イ 端ノイト云蓋シ五十字ニテ云ニ非ズ伊呂波四十七字ノ

序次ヲ以端中奥前後ト云ハ同音異字ヲカツ詞ナ

以下皆倣之イハ輕シ喜ノ上下ニアル印陰有域一

禮 經 聖 清 系 榮 財 戒 類 訓 頭 三 色 岩 今

勇 息 類 訓 中 二 平 參 冲 序 類 訓 下 有

テ 就 ツキテ 樂 終 終 キ 多 シク 遠 トヲイ トヲク 無 ナイ ナウ 喜 ウレシイ

ウレシクノ如クイキシチニウクスツ又等ニ通フハイ也

井 中ノ井上云重シ一字ノ訓 坐井膽猪居亥射ノ類

工

奥ノエー云重シ訓ノ頭ニ有テ六重ク下ニ有テ六外ニ通ス
ニ用ユ笑醉穿畫彩衛士又木声机植ノ類ニ
植ウルト通ヘ氏ワイウエオニテエミ飢ウユルハヤ井ユエヨ
ニテ異ク又字ノ音ニ工工通シ用レ氏永女曲ニハ別アリ
永詠圓塩葉ノ類工也

ホヲオ之別

ホ

端ノホト云ヲヨリ又輕シホラノト讀ハ一字ノ音ヲ訓ニ
交ヘ用ル佐保姬三保ノ類又輕キ訓菴薰鳩公
十寸穂ノ類也一説ニ顔カホ字サホ舞ヲ郡ヨリ塩系
ノ類音ヲ跳ル字皆ホヲト讀ト云誤ナルベシ魚擗汝
氷白大江ノ類字音跳サルモホク然レヲヨリ輕キ訓ニ

用ルト知ベシ

ヲ

中ノヲト云輕シ訓ノ頭ニ有テ輕キ小篠小倉音ヲ
女シガ愚ノ類又ハ訓ノ中ト下ニ有テホヨリ重キ鉦
猶瀝ノ類又ハ手尔乎葉ノ物字夫ヲ是ヲト云ラレ
奥ノオト云重シ御男思大多生思起ノ類又ハ
一字ノ訓夫葶緒紐尾雄ノ類ハオク

ハワ之別

ハ

前ノハト云輕シワヲハト書ハ輕キ訓ノ中ニアル祝賑終ノ
類乎尔乎葉ノ助字是ハ夫ハノ類又ハ不破阿波音
羽邂逅ノ類音ノ中ト下ニアル宦光郭果回ノ類皆
ハヲト讀也

音訓下

ワ 後ノウト云重シ一字ノ音ヲ吳音ニ讀倭和話一字ノ
訓輪回ノ如キヨリ都テ訓ノ上ニアル分總惡若綿脇我
ノ類下ニアル團支離ナドノ重キワ也

ウ フ之別

ウ 前ノウト云輕重アリ音ノ下ニアル紅江廣興強曉松
昌笑重長仲龍良了衆照北要陽庸ノ諸ウト
引音ニ用東紅公ノ類音ヲ引テカノ音ニ紛ルモノ又
訓ノ下ニアル正々遠トオク嬉ウシク寒サムク珍
辛カラクノ類クニ通フ以上ノウハ重クワイウエオノウ也
又ニ通フアリ音ハ判ハウニサウ柑カウ訓ハ冠カウリノ
如キ又音ノ頭ニアル雲運鬱ノ類訓ノ頭ニアル義得

兔牛鷺疑ノウハ輕クアイウエラノウセハ五音ノ
五十字ウニ通フイエハアイウエラノ行ニアリユニ通

フ イエハヤ井ユエヨノ行ニアル也

フ 後ノフト云輕シ訓ノ下ニ有テハヒフノ相通ナル願子カフ

子ガヒ思オモフオモヒトウラチウラチヘノ類又ハウニ響音ク
昨日今日夕扇ノ如ク何レモ通サル者或ハ芝生蓬
生羽生淺芽生之類フラウト讀其餘入聲ノ字ノ
音邑及集塾合蠟急塔協蝶獵葉之法
ノ類皆フ也

濁假字之別

始虹辻富士鬮鯨躑躅雉短聖交ヒ

出 耻 助 藤 直 氏 味 懼 伯 父 無 端 攀 臆
 出 屑 恥 近 埋 泥 帳 僅 泉 田 鶴 點 頭 閉
 必 葛 疵 數 鼠 鷄 尋 相 蛙 鳴 竹 舌 蚯 蚓
 右ノ類サシセソ。タチツテトノ五音ニ仍テ閉トブル交ニシルノ
 加ク分別スベキアリ又古ヨリ定テ書來ルアリシチツス
 清ル音ハ明ニ異ニシテ濁ル音甚紛易シ誤ヘカラス

ツ内外之別

明ラカニ呼ツハ毎偽立 鮮 眠 睦 饑 日 外 之 類
 是ヲ外トス 喉ヨリ舌ニ觸口中ニ止リ外へ現ルハ全
 以訶 因 結 句 發 句 却 屈 佞 法 華 經 之 類 是
 ラ内トス内ニ含ツハ畧シテ書モノ吾邦假字文書

ニ多シモテヨテホクキヤウノ如キ也漢音ニ六都テツ
 ラ韻ニ呼モノ入聲之

ムン開合之別

ム トンラ通シ用レ氏少キカアリムハ合音ナカラ辰月ヲ
 敲少ク開ク音ハ辰月ヲ合セ鼻ヨリ出ル音也故ニ
 ムハンニ通フト云氏ハムニ通ズ梅馬茨埋木ノ類
 ムト書テント讀氏ノ字ヲ書コナシ
 此假字頭ニ書コナシ音ノ下ニアル安寒山丹南ノ類訓ノ
 中ニアル考 蟻 又ハウニ通フニサ 柑 冠 元カウアリ 磬
 カウハシノ類之伊呂波四十七字序假字五十五文ニシノ
 字ナキハムニ通フ故ナレ氏承女曲ヲ畫セバ別ナキニ非

レバ後ニシテ字ヲ作タルモノ又生ウツルノ如キ元來ウツルウニ
テムニアラス馬ウツルハ元來ウツルムニテント讀ヨミウニ非ス如斯モ
ノ多オホシ子細コサバニスベシ

訓之相通

ミハムノ跳トビニ通カヨフ 神カミ君キミ文フミ頓トシ南ナメ御オノ

女メヲナテナ淚ナミダノ類カヨニミムメモノ通カヨヒク

ヒハフニ通カヨフ 撰エラヒ羽ハ白シラヒ浮ウカヒ洗アラヒ争アラソヒ笑ウツク

ウラフヒ貴タツトフノ類カヨハヒフホノ通カヨヒク

ミハムニ通カヨフ 沈シヅム浮ウカミ休ヤスミ汲クム込コミ富トミ惠メ

メグミ美イイツクシムノ類カヨニミムメモノ通カヨヒク

ノラムニ讀ヨミ煙ケアリ睡サレ侍サレ吊ヒラヒ冠カシラノ類カヨフムユルウノ通カヨヒク

凡ツツ訓ツツノ相通ツツ舉アゲ盡ツクスベカラストメヒトトモ共トモニ唇音シブニ

テ通カヨヒラリルレ和ワ訓ツツニ上ウヘニ呼ヨウモノナシアオハ和ワ訓ツツノ

下シニ呼ヨウズキトクハ牙音カニテ青アヲキアラクト云イト云イアラレハ

齒音キバニテ牙キバニ輕カホク轉テジアライアラウト云イトウハ喉

音キバニテ牙キバニ重カホク轉テス又和歌連レ俳イニ云イ三世ノシノ字

人皆知ル所レ之接ツズルニ和訓スベテ此義理アリ尤ト如ク

五音ヲ列レシ文字ヲ置オテ訓ツツシ見ミベシタトハ往ウノ字ユカシ

ユコウト訓ツツスレハ今イマヨリ企クテ往ウト欲ホクナレバ所ユル謂イ未來ミライノシ

ト云イモノニ等ヒトシユクト訓ツツスレハ現在ケンサイ今イマ往ウ義イユキト訓ツツスレハ

過去スギサカタル意イユケト訓ツツスレハ下ケ知チ又ハ願ネガフ意イニモナル他タノ

五音イニモ斯カ訓ツツスレバ意イ義イ比皆同ヒジクアカサタナハニヤラフ

ヲコソトノホモヨロオヲ以訓ズルハ未來イキシ子ニヒマ
井リイハ過去ウクスツヌフムユルウハ現在エケセテ子
ヘメエレエハ下知ニナル五音縱橫ノ妙用タリ

ア カ サ タ ナ ハ ミ ヤ ラ ワ
イ カ キ シ ヲ ナ ニ ア ヒ ミ ム 報 ヌ 來 ル 賜 ウ
貫ウ聞ク越ス待ツ往又遊フ汲ム報ユ來ル賜ウ
エケソヒテノホモヨロオ

乾坤器財生植氣形等ノ字ヲ以コレニ當ベカラス
訓ズル五音ノ韻ニ仍テ義ノ違フ其々比皆同キヲ示
迄ナレバ相應ノ字ヲ填ル凡五音一々のザルモ強テ
咎ヘカラス五音ノ動圖ニテ味ヘシ

音訓國字格 坤卷終

天保七丙申年五月講板

江戸書林

日本橋通貳町目

山城屋佐兵衛

本銀町川岸

山城屋新兵衛

竅古瓦不知何主
及遺構絕壁下陰
房鬼火
石川金三郎
所持



